

2016 埼玉県スキー技術選手権大会における評価の観点

2016 年 1 月 9 日

(少雪対応の場合)

第 49 回 埼玉県スキー技術選手権大会

第 4 回 埼玉県シニアスキー技術選手権大会

第 1 回 埼玉県ジュニアスキー技術選手権大会 ホワイトワールド尾瀬岩鞍 開催

評価の観点

2016 年 1 月 11 日 競技委員会

意思を持ってコントロールされた「スピード」、スキーのたわみを引き出し活用して描く「深い回転弧」、斜面状況に応じた「効率的な身体運動」の 3 点を基本にジャッジいたします。

小回り系種目は停止、演技終了までを評価します。

大回り系種目においても、フィニッシュラインを通過後に停止をお願いします。

大回り（予選、シニア、ジュニア、決勝）

ターン弧の描き方、弧のつなぎ部分からスキーのたわみを引き出し、走り（ターンスピード）を生み出す能力

身体運動とスキーの動きの調和

小回り（予選、シニア、ジュニア、決勝）

リズムカルで途切れの無くタイミングの良い運動によってコントロールされた連続ターンスピードの制御と深い回転弧の描き方

停止までを演技とみなす

フリー（予選、シニア、ジュニア、決勝）

斜面サイズ（幅と長さ）、斜度、雪質の変化に対応したターンの構成力

スピードのコントロールとスキーの走り

小回り規制：リズム変化（決勝）

2 回以上のリズム変化を行う

ショートターン用スキーの性能を引き出し、自在にターン弧を変化させる能力

短く、サイドカーブの小さなスキーでも走りを引き出す技術

以上